

2021年CDP氣候變動質問書

入門編



アウトライン



CDPとは

CDP気候変動

CDPスコアの意味

CDP気候変動質問書ポイント



CDPとは - ビジョンとミッション

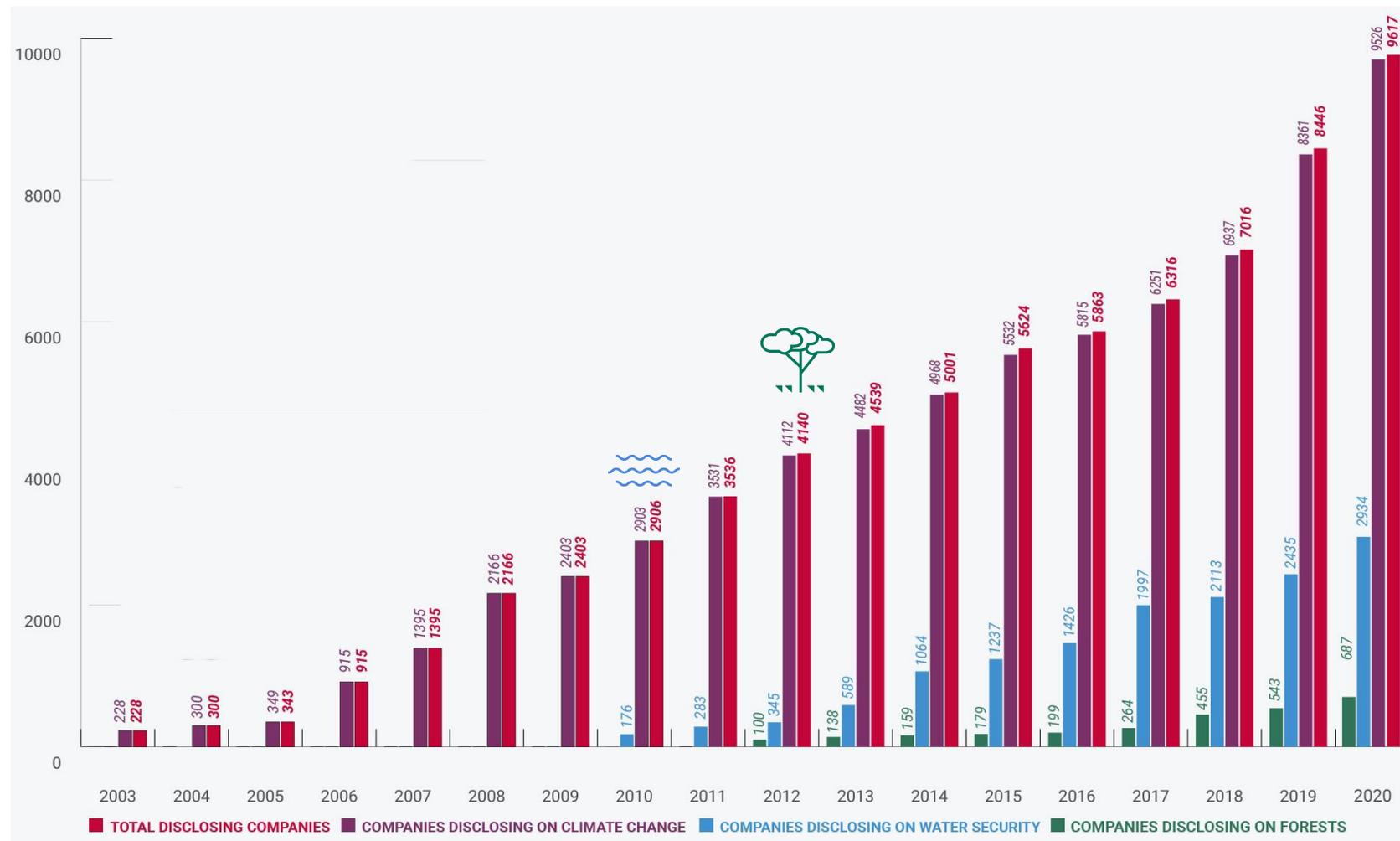
CDPは、人々と地球のための長期的な経済の繁栄を実現すべく努めています。



情報開示を通じて、投資家、企業、自治体が、自身の環境影響を認識し、真に持続可能な経済を実現すべく行動を起こすよう促しています。



CDP質問書への回答状況 2003-2020



2020年度は計9617社
が質問書に回答



気候変動
9526社



水セキュリティ
2934社



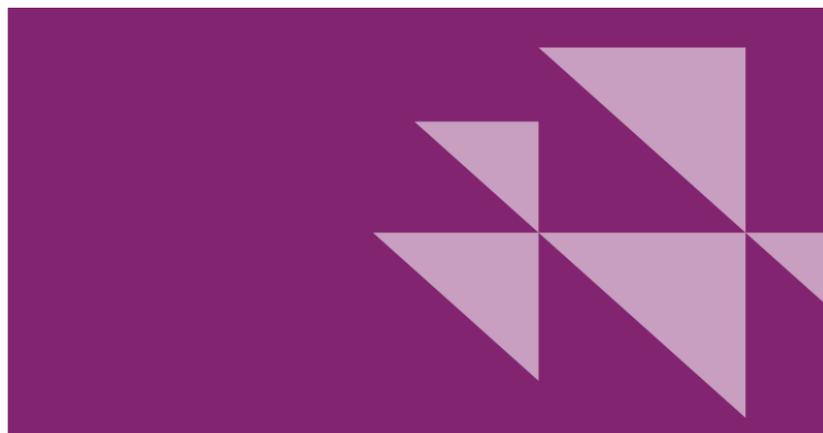
フォレスト
687社



CDP気候変動



CDP Climate Change 2021 Questionnaire



ガバナンスやリスク/機会、
GHG排出量及び削減目標など
について情報の開示

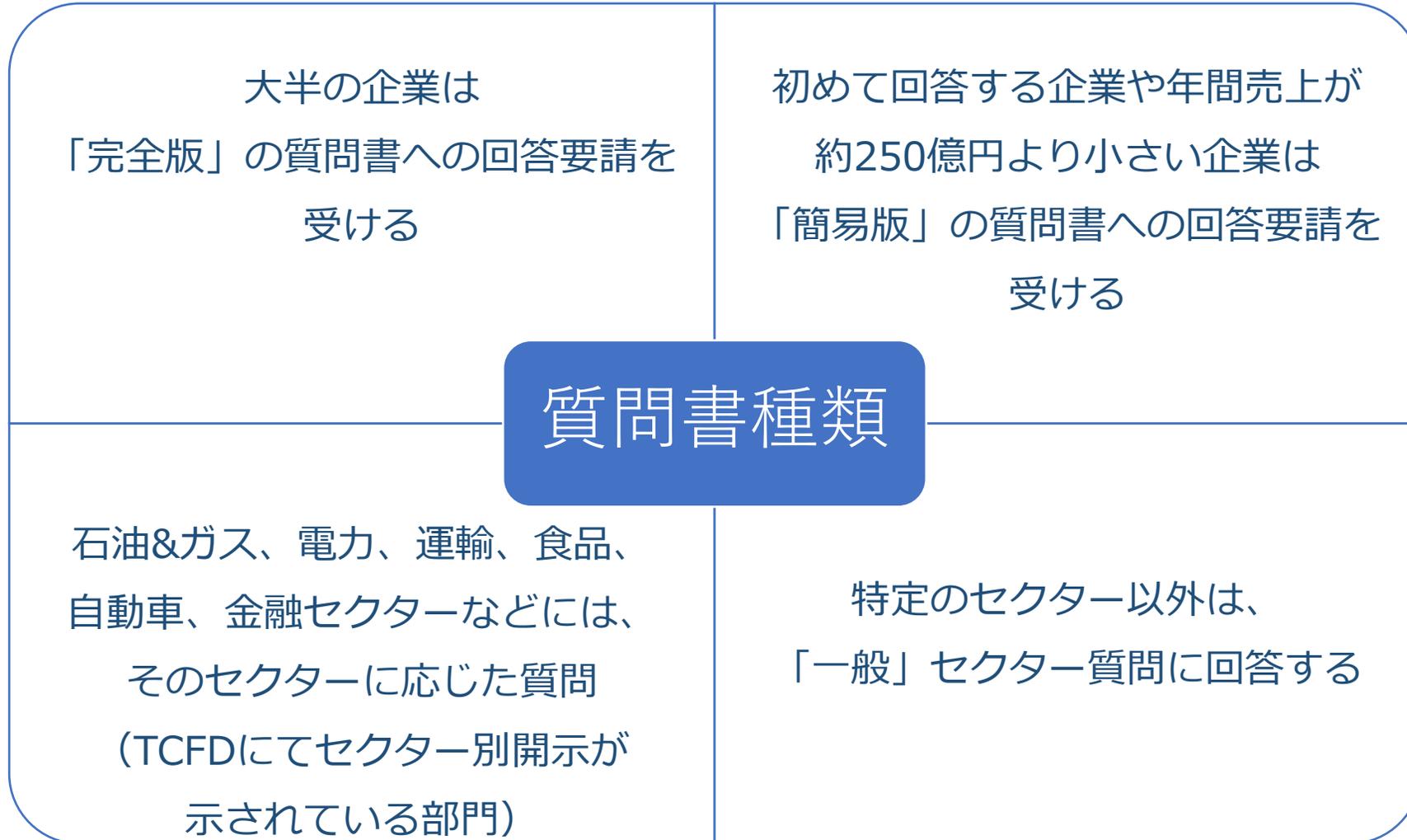
気候変動に伴う企業が直面して
いる、または今後直面しうる
リスクと機会の理解促進

TCFD*対応の質問構成
*気候関連財務情報開示タスクフォース



影響の大きいセクター
(業界分野) については、
個別の追加質問あり





CDP気候変動 - 質問書全体の構造

モジュール	内容
C0 基本情報	企業概要, 報告年, バウンダリ設定
C1 ガバナンス	気候関連課題の社内での扱い、体制
C2 リスク・機会	自社にとってのリスク・機会の詳細
C3 事業戦略	事業戦略・財務計画への反映, シナリオ分析・低炭素移行計画について
C4 目標と実績	削減目標や削減活動による削減実績
C5 排出量算定方法	温室効果ガスの算定方法 (C6, C7回答の基準)
C6 GHG排出量	スコープ1, 2, 3の排出量
C7 排出量詳細	C6回答の国・ガス種・部門・拠点別等による分類
C8 エネルギー	エネルギー消費, 低炭素エネ消費量の報告
C9 追加指標	部門別に生産量や関連指標の報告
C10 第三者検証	スコープ1, 2, 3(等)の第三者検証
C11 カーボンプライシング	炭素税・排出量規制, 内部的カーボンプライシング
C12 エンゲージメント(協働) (C13/C14)	サプライヤー, 顧客, その他への気候関連のエンゲージメント(協働)活動 (農業・食品等・林業製紙業/金融セクター向けの質問)
C15 サインオフ	回答についての最終承認者記載



CDPスコアの意味（気候変動）

環境ステewardシップの向上

情報開示

質問に関する
自社情報の記載

D-, D

認識

自社の現状認識、
どのような影響が
あるかの理解

C-, C

マネジメント

気候リスクや影響
の管理、取組実施

B-, B

リーダーシップ
課題の適応・緩和、
脱炭素社会の構築
に先導的な企業か

A-, A

無回答企業のスコアはF



CDPスコアの意味



情報開示レベル (D-, D)

- ▼ 状況把握の初期段階を示す
- ▼ 質問書に回答する準備ができているが、スケジュールシップに向けた努力は成熟していない

マネジメントレベル (B-, B)

- ▼ 環境リスクやその影響に対するアクションをとっていることを示す
- ▼ 環境リスクやその影響をトラッキングし、緩和したりなくしたりしようとしている

認識レベル (C-, C)

- ▼ 事業で環境問題の影響を考慮していることを示す
- ▼ 開示による透明性を高めるところから進んで、環境問題に関する認識を深めている段階

リーダーシップレベル (A-, A)

- ▼ 環境問題の管理においてベストプラクティスを行っていることを示す
- ▼ 環境問題について自社の事業に沿った理解をしており、その認識や実行したアクションについて説明できている

Aスコアの企業は、Aリスト企業 = 優秀企業として特別に認定されます。



CDPスコアリングのイメージ

各レベルごとの採点イメージ



	情報開示		認識		マネジメント		リーダーシップ	
	得点	配点	得点	配点	得点	配点	得点	配点
CC1.1	1	1	1	1	2	3	0	0.5
CC1.1a	1	1	0	0	2	2	0	0
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
CC15								
合計	162	180	66	110	32	80	7	25
レベル スコア	162/180 = 90%		66/110 = 60%		セクター別のウエイト(比率)があり、それを掛けて算出		左に同じ。リーダーシップとして別途ウエイトの設定あり	

*詳細は、“Scoring categories and weighting documents” 参照



CDP気候変動質問書ポイント / C0 基礎情報



C0.1

御社の概要を記述してください。

C0.2

データを報告する期間（年）の開始日と最終日を教えてください。

C0.3

データを提供する対象国を選択してください。

C0.4

回答を通じて財務データとして用いる通貨を選択してください。

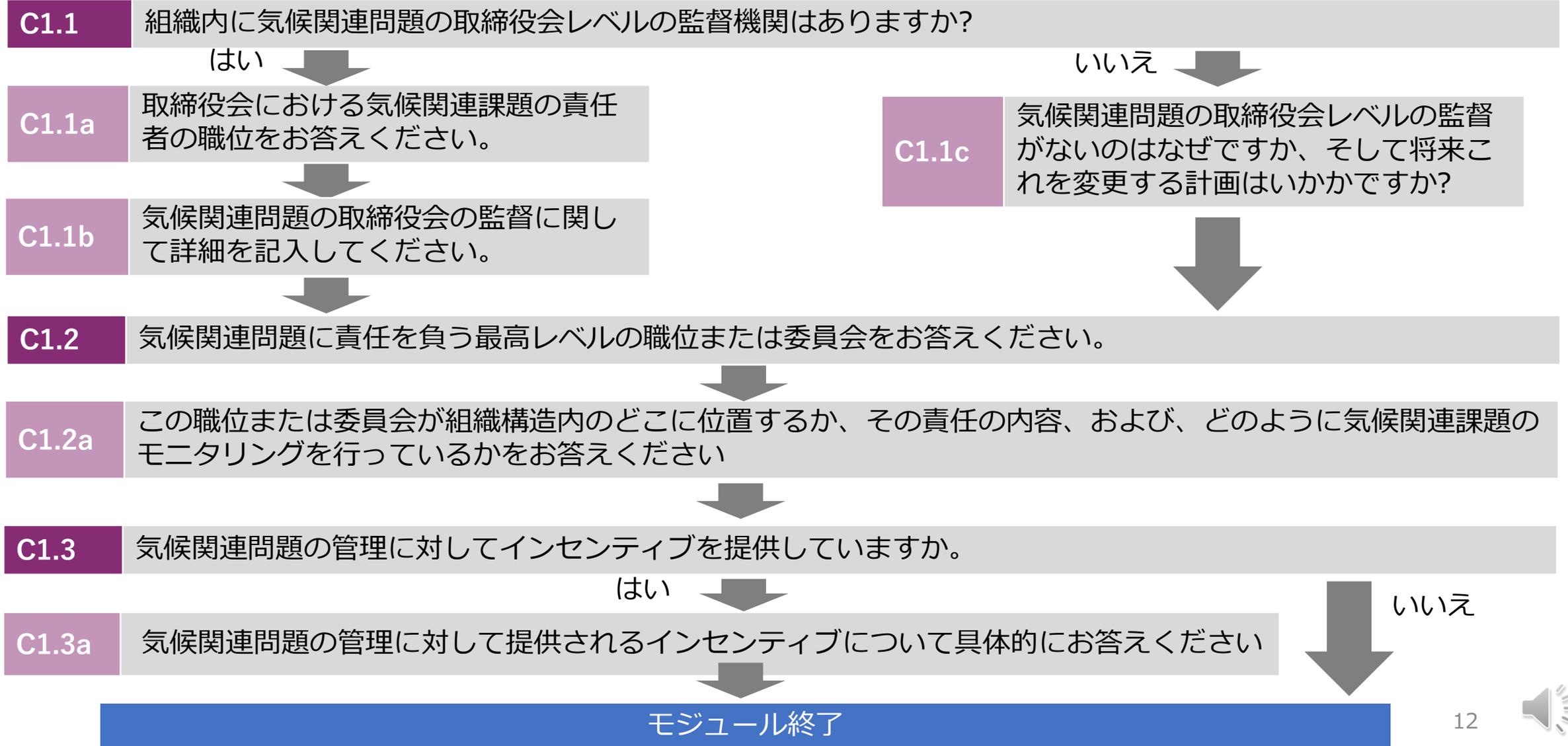
C0.5

御社の事業の気候関連影響の報告に設定している境界（範囲）をご回答ください。
この選択は、GHGインベントリ（集計）作成の境界設定と一致する必要があります。

モジュール終了



CDP気候変動質問書ポイント / C1 ガバナンス(1/2)



CDP気候変動質問書ポイント / C1ガバナンス(2/2)



C1.1

御社では気候関連事項について取締役レベルの監督を行っていますか？

C1.2a

この職位や委員会が組織構造のどこに位置し、その責任の内容および、気候関連事項をどのようにモニタリングしているかについて、説明してください。

C1.3

気候関連事項について、目標達成に対するものを含めて、管理部門に対して何らかのインセンティブを付与していますか？



CDP気候変動質問書ポイント / C2 リスクと機会(1/2)



C2.2

気候関連リスクや機会を特定・評価し、それに対応するプロセスを説明してください。

C2.2a

どのタイプのリスクが御社の気候関連リスク評価にて考慮されていますか。

C2.3
/C2.4

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響をあたえる可能性のある固有の気候関連リスク(/機会)を特定しましたか？

C2.3a
/C2.4a

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響を与える可能性のあるリスク(/機会)の詳細を教えてください。



CDP気候変動質問書ポイント / C2.2a リスクと機会(2/2)

リスクの種類
現在の規制
新たな規制
技術
法的
市場
評判
緊急性の物理的リスク
慢性の物理的リスク

現在の規制

例：・省エネ・低炭素化に関する規制
・気候変動適応に関する規制・法

気候関連リスク要因

新たな規制

例：・カーボンプライシング
メカニズム
・企業活動や既存の製品等に対する新たな命令および規制

技術

例：・既存の製品・サービスをCO2低排出のものに置換
・低排出技術への移行

法的（訴訟）

例：・企業間の法的論争
・住民からの訴訟



CDP気候変動質問書ポイント / C3 事業戦略



C3.1 気候関連リスクと機会は御社の戦略、そして/または財務計画に影響していますか？

C3.2 御社は気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしていますか？

C3.3 特定したリスクと機会が御社の事業のどこにどのように影響があるかについて説明してください。

C3.4 リスクと機会が御社の財務計画プロセスのどこにどのように考慮されたかについて説明してください。

用語説明：**シナリオ分析**
特定の結果または定性的目標につながる、起こり得る経路を描くための評価手法
例) IEAや2DS、IEA 450



CDP気候変動質問書ポイント / C4 目標と実績

C4.1

報告年における排出目標がありましたか？

C4.1a
/4.1b

総量目標/原単位目標（複数可）の詳細と、目標の達成度合いについて
詳細を教えてください。

C4.2

他に報告年における気候関連目標はありましたか？
（再生可能エネルギー導入目標等）

C4.3

報告年における排出量削減イニシアチブがありましたか？
これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

C4.5

既存の御社の製造品や提供サービスについて、低炭素製品と分類されたり、
第三者の削減に貢献するものはありますか？

(参考) SBT (Science Based Target) : 世界の平均気温の上昇を、産業革命前と比べ
1.5度に抑えるという目標に向けた、科学的知見と整合した削減目標



CDP気候変動質問書ポイント / C6 GHG排出量

- C6.1** 御社の全世界のスコープ1の排出量総量を回答ください（CO2換算）。
- C6.3** 御社の全世界のスコープ2の排出量総量を回答ください（CO2換算）。
- C6.5** 御社のスコープ3排出、開示、除外について説明をしてください。



CDP気候変動質問書ポイント / C7 排出量内訳



C7.1 御社では、温室効果ガスの種類別のスコープ1排出量の内訳を作成していますか？

C7.2 スコープ1総排出量の内訳を国／地域別で回答してください。

C7.5 スコープ2総排出量の内訳を国／地域別で回答してください。

C7.9 報告年における総排出量 (スコープ1+2)は、前年と比較してどのように変化しましたか？



CDP気候変動質問書ポイント / C8 エネルギー



C8.1

報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか?

C8.2

御社がエネルギー関連のどの活動を行ったか選択してください。
(燃料, 電力, 熱の消費など)

C8.2a

御社の各エネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。



CDP気候変動質問書ポイント / C10 第三者検証

C10.1

報告した排出量についての検証/保証の状況についてお知らせください。



C10.1a

スコープ1の排出に対する検証/保証の詳細を記述し、
該当する資料を添付してください。

C10.1b

スコープ2の排出に対する検証/保証の詳細を記述し、
該当する資料を添付してください。

C10.1c

スコープ3の排出に対する検証/保証の詳細を記述し、
該当する資料を添付してください。



CDP気候変動質問書ポイント / C11 カーボンプライシング



C11.1

御社の操業や活動がカーボンプライシング(排出量取引, 規制による賦課金、炭素税など)による規制を受けていますか？

C11.1a

御社の操業に影響をあたえるカーボンプライシング規制を選んでください。

C11.1d

御社が参加、または参加すると想定しているシステムにおける遵守のための戦略を教えてください。

C11.2

御社はプロジェクトによる炭素クレジットを報告期間内に創出または購入しましたか。



CDP気候変動質問書ポイント / C12 エンゲージメント



C12.1

気候関連事項について、上流・下流のパートナー（バリューチェーン）との協働（エンゲージメント）をしていますか？

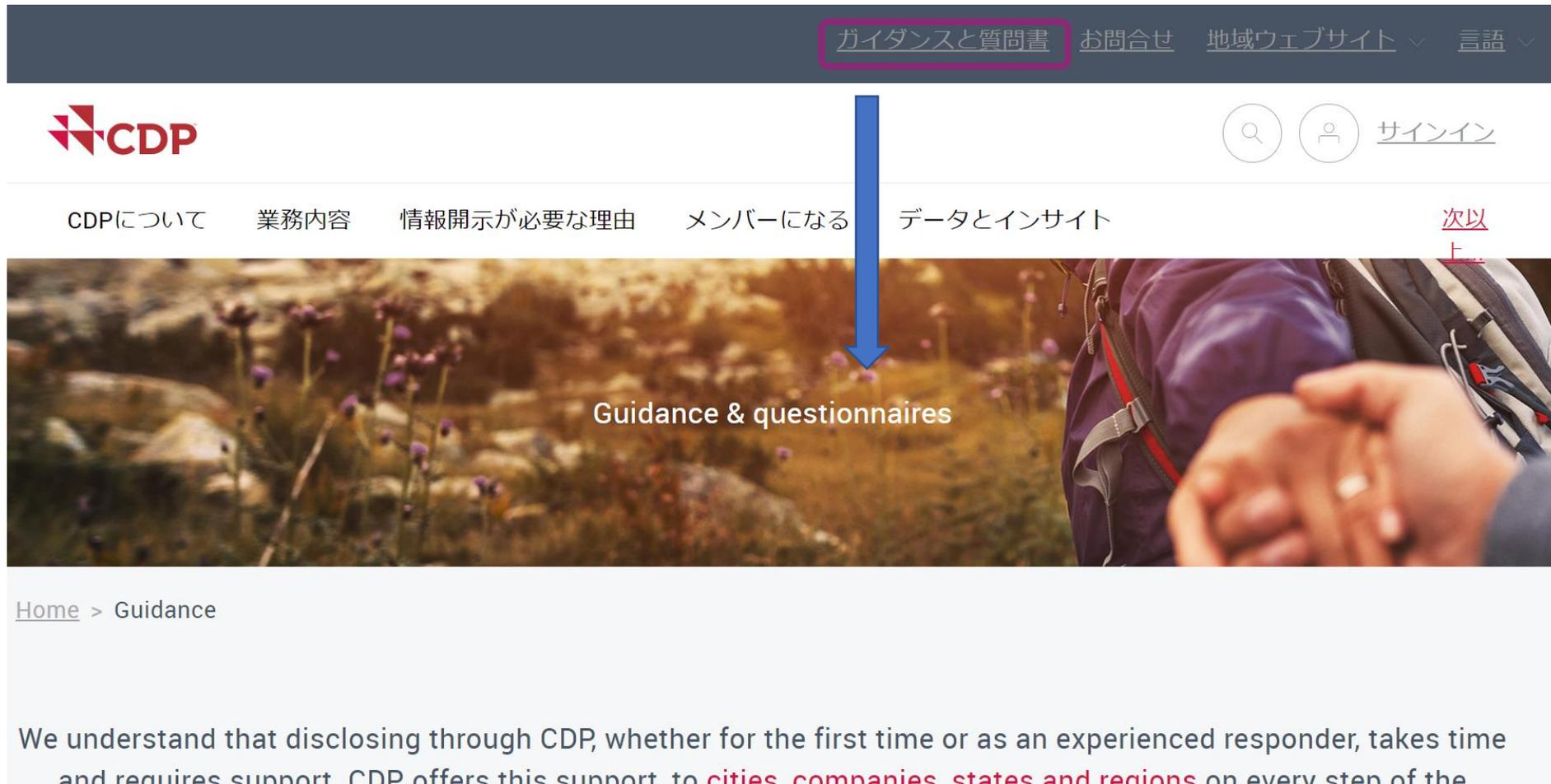
C12.4

報告年における御社の気候変動対応や温室効果ガス排出の動向について、CDPへの回答以外に公開（発行）した情報はありますか？
ある場合、該当文書を添付してください。



質問書の変更点

[CDP ウェブサイト](#)に質問書、ガイダンス、スコアリング基準、変更点などが掲載されておりますのでご覧ください。



The screenshot shows the CDP website's navigation menu. The menu items are: [ガイドランスと質問書](#) (highlighted with a red box), [お問い合わせ](#), [地域ウェブサイト](#), and [言語](#). Below the menu is the CDP logo, a search icon, and a [サインイン](#) button. The main navigation bar includes: [CDPについて](#), [業務内容](#), [情報開示が必要な理由](#), [メンバーになる](#), [データとインサイト](#), and [次以上](#). A blue arrow points from the 'ガイドランスと質問書' menu item to a banner image. The banner image shows a person's hands holding a purple jacket in a field of purple flowers, with the text 'Guidance & questionnaires' overlaid. Below the banner is a breadcrumb trail: [Home](#) > [Guidance](#). The main content area begins with the text: 'We understand that disclosing through CDP, whether for the first time or as an experienced responder, takes time and requires support. CDP offers this support to **cities, companies, states and regions** on every step of the'.





CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net

本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

